

現地体験後の活動

現地体験で各地域について理解を深めた「ふるさと活動隊」は、東京での活動として、物産販売の協力、現地体験の活動報告、次年度以降の活動に向けたふりかえりを行いました。これらを通じて、微力ながら各地域の魅力発信に貢献するだけでなく、3地域の「ふるさと活動隊」が交流することで、学生同士のネットワークを広げることもできました。

明治大学ホームカミングデーでの活動（10月22日）

《鳥取・天童・鯖江物産販売の補助》

ホームカミングデーは大学の卒業生を招き、教授陣の講演会や在学生によるキャンパスツアー、サークルやゼミ発表、理系学部による子ども向けワークショップなどを行う大学イベントです。毎年4千人～5千人の卒業生やその家族が参加し、母校でのひとときを過ごしています。

今年もホームカミングデーでの物産展に、「ふるさと活動隊」が協力し、鳥取・鯖江・天童から出店された各地域の物産品を販売する店舗でのお手伝いをしました。



現地体験で学んだ地域の魅力を来場者に伝える



王将果樹園（天童）で学んだ接客スキルを活かす

《「宮城浩蔵賞」受賞中学生のキャンパスツアー（天童）》

天童市の中学生4名と保護者の皆様、教員委員会の職員の方を明治大学にお招きし、ホームカミングデーを楽しんでいただくとともに、「ふるさと活動隊」が駿河台キャンパスを案内し、大学の施設を見学いただきました。ツアーの最後には、土屋恵一郎学長、竹本田持副学長、矢ヶ崎社会連携副機構長と面会し、大学での学生生活のことから、今後の自分たちの進路のことなどについて懇談を行いました。



大学史展示室で創立者の功績を学ぶ



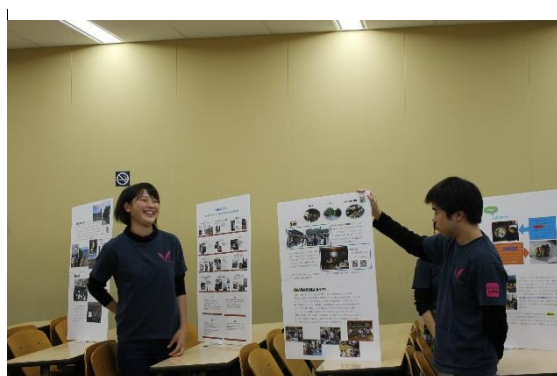
リパティタワー23階で記念撮影



受賞者のさらなる活躍にエールを送った

《夏の現地体験活動報告パネル展》

ホームカミングデーの催しの一つとして、夏の現地体験レポート（前ページ参照）をパネルにして展示し、来場者に公開しました。また、当日はお世話になった各自治体職員の方々に加え、「宮城浩蔵賞」受賞中学生を前に、「ふるさと活動隊」による活動報告会を行いました。夏の現地体験を終え、得た学びや発見を各グループで整理し、成果として発表しました。



2017年度の活動ふりかえり（12月12日）

10月のホームカミングデーでの活動をもって「ふるさと活動隊」の活動を終えるのではなく、今後も継続して各地域との関わりを持ち続けることを目的として、活動のふりかえりを行いました。当日は活動隊を2グループに分けて、それぞれの地域で行った活動について情報交換を行い、次年度以降の活動につなげていくとともに、参加者同士の親睦を深める機会にもなりました。

グループワークの具体的な内容は次ページをご覧ください。



3地域の「ふるさと活動隊」が集ってのグループワークの様子

成果は模造紙にまとめて発表

各自治体の皆さんをはじめ、たくさんの人の協力があって、
今年度の活動を終えることができました！有難うございました！